個別の教育支援計画（プロフィール）

NO１－１

● 氏名・住所等

本　人	ふりがな　た　なか いち　ろう	性　別	生年月日　平成　○○年　○○月　○○日生
	氏　名　田　中　一　郎	男	TEL　○○○○－○○－○○○○
	住　所　〒　０００－００００ ○○市……		
保護者	氏　名 田　中　一　夫	緊急連絡先	携帯　○○○－○○○－○○○○ （職場）○○○○－○○－○○○○
	住　所 ※　本人と異なる場合のみ記入		

家族構成	続　柄	氏　名	備　　考	その他の特記事項
	父	田 中 一 夫		・近くに母方の祖父母がいる。 ・母が仕事の時は、主に祖母が本児の面倒を見ている。
	母	田 中 花 子		
	兄	田 中 二 郎	△△幼稚園 ○○小学校	
	妹	田 中 月 子	○○幼稚園	

・職業を記載する際には、保護者からの同意を得るなど、十分な話し合いが必要です。

● 妊娠・出産・発育の様子

胎生期	妊娠中の母親の健康状態　：(良)・他 妊娠中の病気等　：(無)・有（病名　　） 薬の服用状況　：(無)・有				妊娠期に気になったこと ・特になし。
出生期	妊娠期間	３９週	出生体重	２５５０ｇ	医師の診断や出産時に気になったこと ・出生の時の泣き声は弱いと言われた。
	分娩	(普通)・（　　）			
	様子	(普通)・（　　）			
	泣き方	良好　・　(他)　（ＡＰＳ（アプガースコアー）　９　　）			
	黄疸	(普通)・軽・重	保育器使用	(無)・有（　日）	
乳幼児期	首の座り　（４か月）　はいはい　（１２か月） 一人歩き　（１歳２か月）　人見知り　（なし） 指差し　（なし）　片言を言う　（２歳１か月） おしっこやうんちを予告する。（３歳４か月） 一人でおしっこをする。（３歳８か月） 一人でうんちをする。（４歳０か月） トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える。（４歳３か月）				乳児期、幼児期に気になったこと ・ぐっすりと眠り手がかからなかった。 ・抱いた時に兄とは違い、体をかたくしているような感じがした。 ・手をつないでいないと迷子になったことがあった。

●　療育・教育の状況

	学 校 等	学年	担 任 名	特別支援教育コーディネーター名	備考（就学の場の変更等）
幼児期	○○幼稚園	年中 年長	鈴　木　花　子 鈴　木　花　子	山　本　一　郎 山　本　一　郎	・小学校入学以来、毎週１回「ことばの教室」で通級指導を継続して受けている。
小学校	○○市立○○小学校	１年 ２年 ３年 ４年 ５年 ６年	佐　藤　二　郎 佐　藤　二　郎	田　中　五　郎 田　中　五　郎	
中学校		１年 ２年 ３年			
高　校		１年 ２年 ３年			

●　医療相談にかかわる特記事項及び特記すべき生育歴

幼児期	小学校	中学校	高　校
（耳鼻科） ・３歳半から滲出性中耳炎で、鼓膜の切開を何度か行っている。 （小児科） ・アレルギー性の喘息がある。	（小児精神科） ・２年生になって、医師から「読み書きの能力に障害の疑いがある」と言われた。 （その他） ・病院に行くことを嫌がる。 ・気に入らないときに、大きな声で泣きわめくことがある。		

・途中から作成する際には、記入できない場合もあります。

● 障害の状況等

障害の状況等	入所施設	(無)・有		
	主 障 害	高機能自閉症の疑い （　．　．　／　　）	他の障害	言葉の発達の遅れ （　．　．　／　　）
	診 断 名	広汎性発達障害の疑い	療育手帳	（　．　．　交付）
	身障手帳	（　．　．　交付）	精神障害者保健福祉手帳	（　．　．　交付）

・診断を受けた期日と医療機関等の名称を記載します。

● 学習や生活上での困難や困り感、願い等

本　　人	保　護　者
・休み時間にみんな遊んでいるとき、いつも注意ばかりされ、誰も自分のことを聞いてくれない。	・学校では、自分の思いを上手に表現できず、かなり我慢しているようであり、家では、学校での不満を吐き出している。 ・子どもの様子については、担任の先生と連絡帳を通じて、情報交換をしている。 ・子どもが、自分の思いや考えを言えるようになってほしい。

・「いつ」、「どこで」、「どれくらい」困難や困り感があるのかなど、具体的に記載します。

● 特徴

	幼児期	小学校	中学校	高　校
得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと	・電車に興味があり、電車の絵をかくことが好きである。 ・駅名や路線名を克明に覚えている。			
苦手なこと、嫌いなこと、さけなければならないこと	・興味・関心のあることが限られている。	・筋道を立てて経験したことを話すことが苦手である。 ・友だちや教師に自分から働きかけることは少ない。休み時間も一人でいることが多い。		

・障害の状態だけでなく、指導の手がかりとなる本人の得意なことや好きなことを把握し、記載します。

●　児童生徒の様子

	幼児期	小学校	中学校	高　校
生活 （身辺処理、健康）	・偏食があり、特に野菜が嫌いである。	・身辺処理は自立している。		
運動 （身体発達、身体の動き）	・喘息のため、運動を控えていた。	・ボール運動が苦手であるが、積極的に取り組んでいる。		
行動 （性格、行動）	・初めての場所では、慣れるまでにやや時間がかかる。 ・犬を見るとおびえて急に走り出す。	・自分の思い通りにならないときに、気持ちが不安定になったり、怒りっぽくなったりすることがある。 ・物音にやや過敏である。大きい音（校内放送）に対して耳をふさぐことがある。		
学習		・算数の計算問題が得意である。 ・作文を書くことが難しい。		
人とのかかわり （遊び、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）	・友だちから誘われて一緒に遊ぶことはあるが、あまり長続きしない。	・語彙数はあるが、言葉でわかりやすく説明するのは難しい。 ・言葉の裏側にある意味など、言葉のニュアンスを理解することが難しい。		
諸検査の結果	・ＷＩＳＣ－Ⅲ （平成１７年〇月〇日〇〇〇〇にて実施） ＶＩＱ　〇〇 ＰＩＱ　〇〇 ＦＩＱ　〇〇 言語理解　〇〇 知覚統合　〇〇 注意記憶　〇〇 処理速度　〇〇	・Ｋ－ＡＢＣ （平成１８年〇月〇日〇〇〇〇にて実施） 継次処理　〇〇 同時処理　〇〇 認知処理　〇〇 習得度　〇〇		

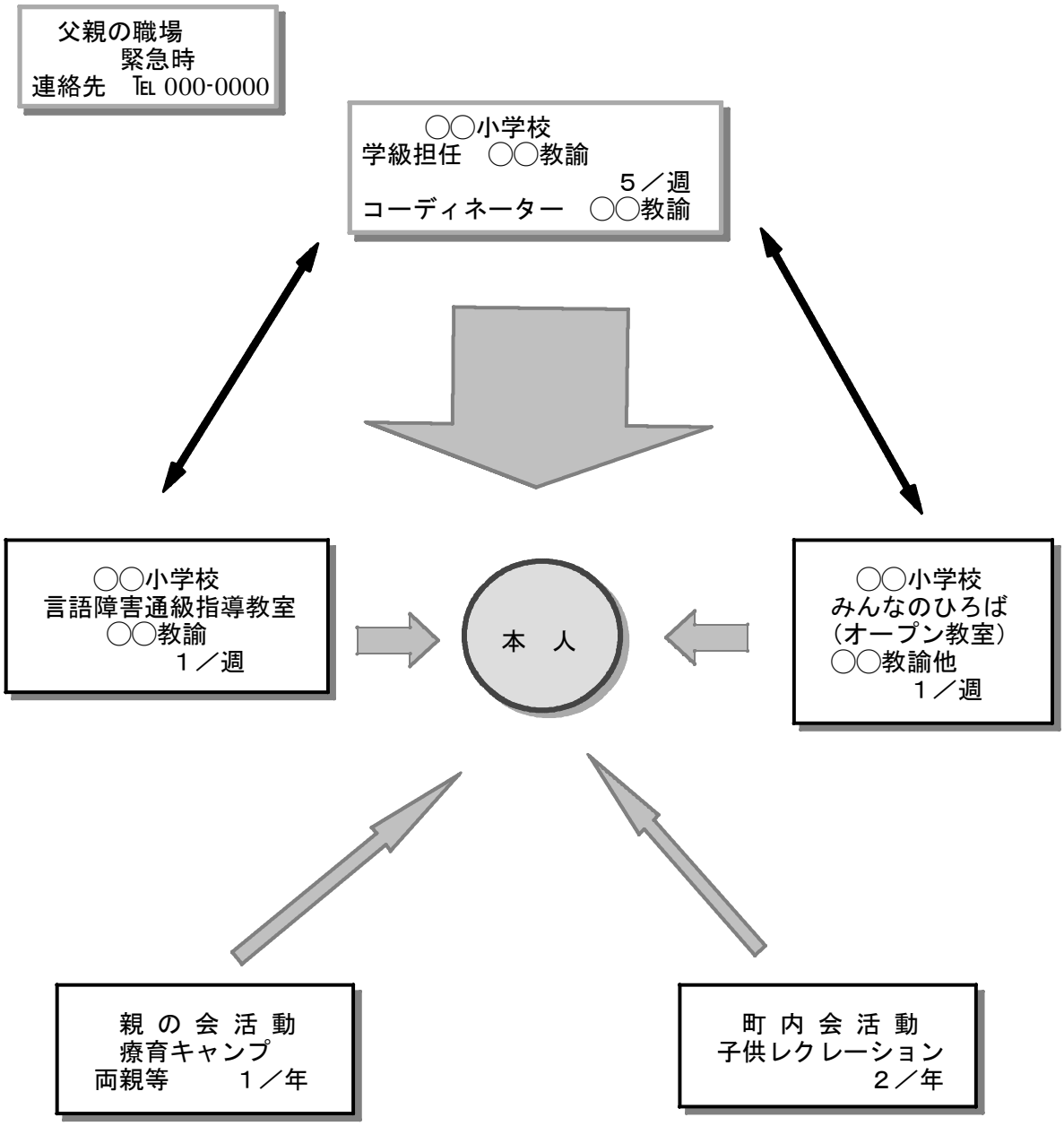
・この「個別の教育支援計画の作成例」では、全ての項目に児童の様子を記載していますが、作成する際は、子どもの実態に応じてポイントとなるところを中心に記載します。

・計画は、本人・保護者のものですので、保護者に書いていただくか、保護者と話し合いながら教員が記載することになります。個人情報ですので、項目によっては、保護者の希望で記載しない場合も考えられます。

NO１－５

● 支援マップ

（小学校段階）



市町の関係機関	電　話　番　号	担　当　者
○○養護学校	○○○○－○○－○○○○	
△△支援センター		
□□子どもと親のサポートセンター		

【凡例】

→ ：支援や連携の方向性を表す。

⇒ ：支援や連携の強さを線の太さで表す

【補足】

・親の会の療育キャンプは年に１回、１泊で実施されている。

・町内会の子供レクレーションは年に２回ほどゲーム大会といちご刈りが実施されている。

個別の教育支援計画（支援計画）

NO２－１

小学校の作成例

氏　名	田　中　一　郎	性別	男	学校名	○○市立○○小学校
作成者	○　○　○　○			作成日	平成　１９　年　○　月○○日（　．　．　修正）

●　本人・保護者の希望

	現　在　の　希　望	将　来　の　希　望
本　人	・勉強が分かるようになりたい。	・働いてお金をもらいたい。
保護者	・気持ちをことばで表現できるようになってほしい。 ・友だちと仲良くかかわることができるようになってほしい。	・自立してほしい。

・長期的な見通しをもった支援を進める観点から「将来の希望」を記載します。「将来の希望」についてどのくらいの期間を想定するかについては、本人の状況に応じて適切に設定します。

●　児童生徒の様子

		各　期　の　目　標	各期における担任・関係機関による支援
将来の希望	乳幼児期		
	入学期	１・楽しく学校生活を送ることができる。	・幼稚園との情報交換に基づき、環境の変化に対応できるよう、個別のかかわりをおおくする。
	小中学年	２・自分の思いを担任の先生に話すことができるようになる。 ・友だちと一緒に過ごすことができる。	・集団での遊びには、無理強いをせず誘うようにする。
	小高学年	３・相手を意識して、その場に応じた話ができるようになる。	・友だちとの会話に教師が入り、かかわることのよさを実感できるようにする。
	中学校	４・特別支援学級で、基本的な生活習慣を身に付ける。	・学習のルールを明確に提示し守ることができるようにする。
	高校	５・特別支援学校に入学し、社会的自立に向けた知識や技能を身に付ける。	
	成人	６・障害を理解して雇用してくれる事業所等で働く。	

NO２－２

●　課題・支援の目標

	課　　題	支援の目標（長期）
①	・興味・関心のあることが少ない。 ・友だちや教師に自分から働きかけることが少ない	・興味・関心やコミュニケーションの幅を広げる。
②	・言葉で分かりやすく説明するのが難しい。	・話題に沿って話したり、順序よく説明したりできる。

・長期的な見通しをもった「支援の目標（長期）」を設定します。
・目標を達成するための支援の期間は、当該児童生徒に応じて決定します。また、期間内に目標が達成された場合や、転学など主な支援者（機関）が変わる際には目標を見直します。

	支　援　の　結　果
① ②	・教師の働きかけで言葉遊びを楽しむようになった。 ・友だちに誘われれば、一緒に外に遊びに行くことが増えている。 ・教師と話したいことを確かめ、メモを活用して順序よく話すことができるようになった。（　．　．　記入　○○　○○）

・「支援の結果」については、支援の目標（長期）として挙げたそれぞれの項目について記載します。

NO２－３

●　関係機関の相談・支援の記録

相談・支援機関等	期日	内　容　・　結　果	連携担当
○○病院（小児精神科） （担当：○○医師） TEL ○○○○－○○－○○○○	H○．○．○	・「広汎性発達障害の疑い」と言われた。	
○○○発達支援センター （担当：○○○○） TEL ○○○○－○○－○○○○	H○．○～ H○．○	・週１回の指導を受けた。 ・ことばの発達を促すかかわり方について助言を受けた。 ・本児は楽しみに通い、言語発達が促された。	
○○小学校ことばの教室 （担当：○○教諭） TEL ○○○○－○○－○○○○	H○．○～	・週１回の通級指導開始。 ・興味・関心のある内容で、聞いたり話したりする学習を行っている。 ・自発的な行動や発言を大切にしている。	学級担任 コーディネーター
胆振教育局専門家チーム （担当：○○○○）	H○．○．○	・巡回相談において、指導を効果的に行うための助言を受けた。	コーディネーター
○○町子ども会 （担当：○○○○） TEL ○○○○－○○－○○○○	H○．○～	・子ども会活動に参加している。 ・同学年のＡ君がいるので、Ａ君をとおして他の子どもとの交流を図れるように配慮している。	学級担任 コーディネーター

・計画の策定にかかわった支援者（機関）については、「支援機関・連絡先」に記載します。
・「支援機関・連絡先」については、通級指導教室や各市町に設置されている発達支援センター、特別支援学校、医療機関等を記載します。

・相談した内容や受けた助言などを具体的に記載します。
・相談・支援を受けた後、児童生徒の変容を記載します。

胆振管内における支援機関

● **西胆振地区特別支援教育ネットワーク会議（北海道室蘭養護学校、北海道室蘭聾学校、北海道伊達高等養護学校のネットワーク）**
＜事務局＞北海道室蘭養護学校　℡０１４３－４５－８２７０

３校が特別支援教育に係る情報交換、連携、研修を行い、西胆振におけるＬＤ等を含む障害のある幼児児童生徒等の教育相談や教員が行う指導に対する助言等を行っています。

● **サラブネット（北海道平取養護学校、北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校のネットワーク）**
＜事務局＞北海道平取養護学校　℡０１４５７－２－３１７８

日高及び東胆振の教育、福祉、医療、労働等の関係機関が特別支援教育に係る情報を共有し、日高及び東胆振におけるＬＤ等を含む障害のある幼児児童生徒等の教育相談や教員が行う指導に対する助言等を行っています。

● **北海道胆振保健福祉事務所児童相談部　＜連絡先＞北海道室蘭児童相談所　℡０１４３－４４－４１５２**

１８歳未満の幼児児童生徒の心身の状況や家庭、学校での問題などについて相談に応じ、子どもが明るく健やかに成長していくよう指導助言等を行っています。

● **北海道胆振保健福祉事務所圏域専門支援機関（北海道社会福祉事業団　太陽の園）**
＜連絡先＞太陽の園　℡０１４２－２３－３５４９

発達の遅れ又は障害のある幼児児童生徒及びその家族が、身近な地域で必要な相談支援及び療育等を受けることができるよう、乳幼児期の早期発見、早期の発達支援から、学齢期・成人期への育ちへとつなぐ体制を整備するための方策等を協議しています。

● **室蘭公共職業安定所　＜連絡先＞０１４３－２２－８６８９**
苫小牧公共職業安定所　＜連絡先＞０１４４－３２－５２２１

障害のある方が適切な職業選択をし、また、就職後、職場へ円滑に適応できるよう相談等を行い、必要な援助や指導を行っています。